LRQA独立保証声明書

株式会社三菱総合研究所のWebサイト等に掲載される2025年度の温室効果ガス排出量データに関する保証

この保証声明書は、契約に基づいて株式会社三菱総合研究所に対して作成されたものである。

保証業務の条件

LRQA リミテッド（以下、LRQA という）は、株式会社三菱総合研究所（以下、会社という）からの委嘱に基づき、株式会社三菱総合研究所の Web サイト等に掲載される 2025 年度（2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）の会社の温室効果ガス排出量データ（以下、報告書という）に対して、検証人の専門的判断による重要性水準において、ISO14064-3:2019 を用いて、限定的レベルの独立保証業務を実施した。

LRQA の保証業務は、会社とその国内連結子会社[1]における運営及び活動 に対して、以下の要求事項を対象とする。

- 以下の選択されたデータに対して、会社の定める報告基準への適合性の検証
- 以下の選択された環境データの正確性、信頼性の評価[2]
  - スコープ 3 GHG 排出量（カテゴリー1-7）【トン CO_2e】[3]

LRQA の保証業務は会社のサプライヤー、業務委託先、及び報告書で言及された第三者に関するデータ及び情報を除くものとする。

LRQA の責任は、会社に対してのみ負うものとする。本声明書の脚注で説明されている通り、LRQA は会社以外へのいかなる義務または責任を放棄する。会社は報告書内の全てのデータ及び情報の収集、集計、分析、公表、及び報告書の基となるシステムの効果的な内部統制の維持に対して責任を有するものとする。報告書は会社によって承認されており、その責任は会社にある。

LRQA の意見

LRQA の保証手続の結果、会社が全ての重要な点において、

- 自らの定める基準に従って報告書を作成していない
- 下表 1 に要約される正確で信用できるパフォーマンスデータを開示していない

ことを示す事実は認められなかった。
この保証声明書で表明された検証意見は、限定的保証水準[4]、及び検証人の専門的判断に基づいて決定された。

表 1. 株式会社三菱総合研究所の 2025 年度 GHG 排出量データの要約

Scope			
Scope 3GHG 排出量		81,718	tCO2e
	カテゴリー1	62,240	tCO2e
	カテゴリー2	11,156	tCO2e
	カテゴリー3	2,612	tCO2e
	カテゴリー4	132	tCO2e
	カテゴリー5	309	tCO2e
	カテゴリー6	4,333	tCO2e
	カテゴリー7	937	tCO2e

[1] 株式会社三菱総合研究所及びエム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社、エム・アール・アイビジネス株式会社、三菱総研 DCS 株式会社、株式会社 MPX、MRI バリューコンサルティング・アンド・ソリューションズ株式会社、株式会社アイ・ティー・ワンが算定対象。株式会社アイ・ティー・ワン名古屋営業所は算定除外。

[2] GHG の定量化には固有の不確かさが前提となる。

[3] 株式会社三菱総合研究所の中部オフィス、ドバイ支店及び三菱総研 DCS 株式会社の九州支社及び名古屋オフィスはカテゴリー3、5 算定除外、三菱総研 DCS 株式会社の三田本社はカテゴリー5 算定除外、株式会社 MD ビジネスパートナーは、カテゴリー3、5 のみ算定対象。株式会社 MPX、MRI バリューコンサルティング・アンド・ソリューションズ株式会社、株式会社アイ・ティー・ワンはカテゴリー3 のみ算定対象。

[4] 限定的保証業務の証拠収集は、合理的保証業務に比べて少ない範囲で行われ、各拠点を訪問して元データを確認するより集計されたデータに重点を置いている。従って、限定的保証業務で得られる保証水準は合理的保証業務が行われた場合に得られる保証に比べて実質的に低くなる。

保証手続

LRQA の保証業務は、ISO14064-3: 2019 に従って実施された。保証業務の証拠収集プロセスの一環として、以下の事項が実施された。

- 報告書内に重大な誤り、記載の漏れ及び誤りが無いことを確認するための、会社のデータマネジメントシステムを審査した。LRQA は、内部検証を含め、データの取扱い及びシステムの有効性をレビューすることにより、これを行った。
- データの収集と報告書の作成に関わる主たる関係者へのインタビューを行った。
- サンプリング手法を用いて、集計されたデータの再計算と元データとの突合を行った。
- 2025 年度の環境データに関する記録および情報の検証を行った。
- データマネジメントシステムの運用状況を評価するため、三菱総研株式会社の検証は、電子メール、電話、Microsoft Teams を介してリモートで実施した。

観察事項

会社が今後更に報告書における正確性、信頼性を向上することが期待される。その際、会社本体及びサイトにおける内部検証プロセスをより効果的にする。

基準、適格性及び独立性

LRQAはISO14065 *“温室効果ガス－認定又は他の承認形式で使用するための温室効果ガスに関する妥当性確認及び検証を行う機関に対する要求事項”*、ISO17021-1 *“適合性評価－マネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項– 第1部：要求事項”* に適合する包括的なマネジメントシステムを導入し、維持している。これらは国際会計士倫理基準審議会による国際品質管理基準1と職業会計士の倫理規定における要求も満たすものである。

LRQAは、その資格、トレーニング及び経験に基づき、適切な資格を有する個人を選任することを保証する。
全ての検証及び認証結果は上級管理者によって内部でレビューされ、適用された手続が正確であり、透明であることを保証する。
本検証業務は、LRQAが会社に対して行っている唯一の業務であり、そのためLRQAの独立性や公平性を損なうものではない。

署名　　2026 年 3 月 8 日

清水佐衣子

清水　佐衣子
LRQA 主任検証人
LRQA リミテッド
神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-1　クイーンズタワーA 10F

LRQA reference: YKA00001131

LRQA, its affiliates and subsidiaries, and their respective officers, employees or agents are, individually and collectively, referred to in this clause as 'LRQA'. LRQA assumes no responsibility and shall not be liable to any person for any loss, damage or expense caused by reliance on the information or advice in this document or howsoever provided, unless that person has signed a contract with the relevant LRQA entity for the provision of this information or advice and in that case any responsibility or liability is exclusively on the terms and conditions set out in that contract.
The English version of this Assurance Statement is the only valid version. LRQA assumes no responsibility for versions translated into other languages.
This Assurance Statement is only valid when published with the Report to which it refers. It may only be reproduced in its entirety.
Copyright © LRQA, 2026.